

自立支援法と介護保険法を 併用しての就労支援

(有)在宅支援チーム フォーレスト
作業療法士 遠藤美代子
大谷芙美子

はじめに

- サテライトリハビリセンターいずみは、午前・午後共に定員18名の短時間リハビリ特化型通所介護施設である。
- 当施設において、高次脳機能障害の59歳男性に対し、就労目的に支援を行っているため報告する。

ケース紹介

- 59歳 男性
- 疾患名 : <毛膜下出血,脳梗塞後遺症
- 発症日 :平成17年2月21日 (症状発症2月18日)
- 障害名 :高次脳機能障害 (構成障害)
左不全麻痺
- 障害手帳 :精神 3級
- 介護保険 :要介護 1

方法

1. デイサービスでの支援

高次脳機能障害の評価

評価に基づいた各種マニュアルの作成

実際にデイサービス業務を行う

2. 就労移行支援

仕事の実践（一日）

經過
(第 期 ~ 第 期)

第 期

～ 利用開始～ 2.27

目 標 : ヘルパーの仕事に就く

対応策 : デイサービスの手伝い

お茶入れ・お茶出し・食器洗い・・・

(構成障害あるため身体を動かす仕事为主)

反 応 : 課題に対し意欲的に取り組む

食器を割る頻度が高い

(仕事量の調整困難・左手への注意が欠ける)

居眠りが多い

第 期

～ ボランティア開始 ～

目 標 : 就労に向けて体力をつける

対応策 : デイサービスの利用回数を増やす (ボランティア扱い)
仕事内容の追加 (洗濯・連絡帳作り・畑仕事・・・)

反 応 : 一連の流れに慣れてくる

食器を割る頻度が減る

作業量の調整可・左手への注意向上

居眠りが減る

第 期

～ サービス担当者会議6.15～

目 標 :何でもいから仕事に就くことができる
ヘルパーの仕事は断念

対応策 :仕事を意識しスケジュールに沿って動く
1時間休憩の7時間労働
仕事内容と時間の明確化

反 応 :スケジュール通りに動くことが可能
食器を割る頻度が減る

一日のスケジュール

【火曜日】

リハビリ：午前 1時間半 午後 1時間

仕事内容： お茶出し
おしぼり渡し
食器片付け
食器洗い

ボランティアの木曜日は、

洗濯 連絡帳作成 追加

一週間のスケジュール

2回目の担当者会議 (6.29)

自立支援法の手続きが完了次第

就労移行支援開始となる

月	火	水	木	金
就労移行 支援	デイサービス	就労移行 支援	デイサービス (ボランティア ア)	就労移行 支援

第 期

～ 就労移行支援併用開始7.17 ～

目 標 :より就労に近づく

対 応 :就労移行支援—お寺の草むしりが主
公共交通機関の利用

通 所 —これまでの継続

反 応 :時間通りに動けない

食器を割る頻度が高い

居眠りが多い イライラしている

新しい環境に対する反応

第 期

～ 就労移行支援に慣れてくる8.21～

反応

1. デイサービス

併用開始前の状態に戻る

スケジュール通りに動くことが可能

食器を割る頻度が減る

2. 就労移行支援

仕事にむらなく取り組むことができている

第 期

～ さらに前へ～

1. 仙台市障害者就労支援センター
デイサービススタッフ (PT・OT) が同行し
情報収集 登録予定
2. ハローワーク
病院ソーシャルワーカーが同行し
情報収集 & 登録

考察

～ デイサービスでのOTの役割 ～

- 1 . 混乱の原因に対する評価と
対応手法の徹底
- 2 . 作業能力評価
- 3 . 関係機関へのタイムリーな情報発信
及び情報交換

学んだこと

- 高次脳機能障害
- 自立支援法の就労移行支援
- デイサービス内の他職種との連携
- 医療機関 , 自立支援法下でのサービス , 介護保険法下でのサービスの連携

デイサービスでの 就労支援の問題点

環境要因 職場ではない
集中力や意欲に欠ける

今後の理想型

- 高次脳機能障害特化の通所サービス
- 就労支援特化の通所サービス